

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立小中一貫校北山校
1 前年度 評価結果の概要	○学校教育目標である「感謝・絆・全力～小中一貫教育と各種交流活動によって自主・自立に向かう児童生徒の育成～」に向けて、教職員は啓発や働きかけを行ったり、児童生徒は学校行事や地域行事に進んで取り組んだりする姿が見られた。 ○学力向上や地域連携に向けて、北山校授業モデルづくりの研修を進めながらタブレットの活用や個別化への対応を行ったり、学校行事と地域行事を計画的に組み込み北山校の魅力を体感できる方策を仕組んだりしていくことが求められている。 ○心の教育について、教職員による生活実態調査、児童生徒会によるいじめ、いのちを考える取組等、細やかな対応や指導、年間を通じての自主的な活動によって、児童生徒の安心感や満足感が高い。教育相談週間等の充実で、相談体制をさらに強化していきたいと考える。 ○健康・体づくりについて、あいさつ運動、早寝・早起き・朝ごはんの習慣、保健便りによる啓発等、継続的に児童生徒に働きかけを行っていた。今後、全校的に、運動やスポーツへの取組を具体化して、体力づくりに励むことが課題である。 ○地域に開かれた学校について、育友会活動を中心に児童生徒や保護者の出席率は、ほぼ100%と非常に高い水準である。しかし、意識面では教職員と保護者では隔りがある。保護者の学校への期待感を把握して、学校運営に活かしていくことが求められていると言える。
2 学校教育目標	○感謝・絆・全力～小中一貫教育と各種交流活動によって自主・自立に向かう児童生徒の育成～

3 本年度の重点目標	(1)感謝…豊かな心「自他の生命尊重」「他人を思いやる心」「自己肯定感」「道徳的心情」「人権感覚」「ボランティア活動」等の向上、育成 (2)絆…絆づくり「人間関係力」「ふるさとへの愛と誇り」「喜び合う学級づくり」「遠隔地交流」「地域連携」等の充実、推進 (3)全力…学力向上「基礎・基本」「生活習慣」「北山校授業モデル」「北山校思考スキル」「家庭学習」「家勉強ばらう週間」等の定着、推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○全国、県学習状況調査に向けた学力向上対策の充実、学習内容の定着に向けた分かりやすい授業実践	○教職員の学校評価アンケートの「学習課題や学習過程の工夫をした授業づくりをし、主体的に学ぶ姿を目指している。」という項目で、肯定的な回答の割合が85%以上になるようにする。	・校内研究を通して、児童生徒に主体的に学習に取り組ませる指導方法の研究を積み重ねる。また、学力向上対策に係る研修会を継続的に実施して、教職員自身の資質向上に努める。						
	○気づき、考え、表現する児童生徒の育成に向けた授業づくり	○深める過程の中の伝え合う場面を中心に自分の考えを述べたり友達のを聞いたりすることを、肯定的にとらえた児童生徒の割合を85%以上とする。	・「北山校授業モデル」を基に、「考える」「深める」場面で、主体的、対話的活動を仕組み、児童生徒が自ら学ぶ授業づくりの中で、論理的思考力の高まりを目指す。		・		・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートの生命尊重、思いやり、社会性等の項目にて、肯定的にとらえた児童生徒の割合を85%以上とする。	・道徳の授業公開により学校の取り組みを伝えたり、家庭や地域との連携を通して相互理解を図ったりして、学校と地域が一体となって児童生徒を見守る。		・		・		・
	●いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートの児童生徒のいじめに関する項目、教職員の組織的な対応の項目にて、肯定的にとらえた教職員の割合を90%以上とする。	・いじめいのちを考える日として、毎月人権集会を行って啓発を図る。また、いじめアンケートを実施して一人一人の心情に寄り添った指導と日常の細かな観察により未然防止、早期発見、早期対応を行う。		・		・		・
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎学校評価アンケートの「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」「将来の夢や目標をもっている」の項目で肯定的に回答した児童生徒の割合を85%以上とする。	・児童生徒が、学校行事、体験活動等に見通しをもって取り組む単元を仕組み、自らの生き方、考え方を見据えキャリアパスポートに記して学びを振り返ることを促す。		・		・		・
	○基本的な生活習慣の確立に向けた児童生徒の育成	○学校評価アンケートの挨拶、返事、正しい言葉遣いの項目で肯定的に回答した児童生徒の割合を85%以上とする。	・毎月、全校に対して生活集会で話をしたり、個別に生活習慣についての振り返りを行ったりして、学校や学級で児童生徒の生活を適切に評価する。		・		・		・
	●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成の検討及び実践	・毎日の健康観察の充実、遅刻や欠席の児童生徒への家庭連絡、保健だよりによる啓発、給食の残食事調査による指導等、細やかな指導を継続して行う。		・		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○自らの健康的な体づくりの充実を目指す児童生徒の育成	○学校評価アンケートの運動やスポーツ、遊び、部活動の項目で肯定的に回答した児童生徒の割合を85%以上とする。	・外遊びや日常的な運動を奨励するとともに、中学部の活動の時間を充実させる。また、体育の準備運動に体づくり運動の内容を取り入れ、体を動かす楽しさや心地よさを知り、体力の向上にも努める。		・		・		・
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限、月45時間、年360時間を遵守した教職員の割合を90%以上とする。また、職員1人あたりの年次休暇の習得日数14日以上を目指す。	・通行事の定例化、会議時間の設定等、見通しをもった校務の運営や処理を実施したり、教育反省、校務可視化により、業務精選や均等化に努めていく。		・		・		・
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に係る児童理解と支援体制の構築	○特別支援教育に係る専門性の向上、支援体制の充実について、肯定的にとらえた教職員の割合を90%以上とする。	・特別支援教育に係る研修会を定期的の実施したり、子ども支援会議等で、情報共有を図ったりして、個に応じて児童生徒の指導にあたる。		・		・		・

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○地域に開かれた学校	○地域連携活動、育友会活動を通して、ふるさと北山への愛と誇りと持つ児童生徒の育成	○学校評価アンケートの交流学習、地域行事の項目で肯定的に回答した児童生徒の割合を85%以上とする。	・北山校育友会の企画である「サマーキャンプ」「冬の北山まつり」等の開催に向けて、保護者や地域の方と共に教職員、児童生徒も当事者として、実際に運営や役割を担う。		・		・		・
○小中一貫教育	○小中が連携した取り組みによる9年間を見通した教育課程の編成の充実	○学校評価アンケートの小中一貫教育の良さ、小中一貫教育の継続した指導の項目で肯定的に回答した保護者、教職員の割合を85%以上とする。	・小中一貫教育のねらいやよさを確認できるように、児童生徒、教職員、育友会が一体となって学校行事、体験活動等に取り組む。		・		・		・

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------